

5) 芸術・文化

【現況と課題】

本市では、芸術・文化活動を総合文化センター（市民会館、中央公民館、勤労青少年ホーム）やカミガツジプラザ等の拠点施設を中心に、その振興に努めてきました。また、市内には文化協会をはじめ多数の団体・サークルにより活発な活動が展開されています。

今後とも市民が主体となった芸術・文化活動のさらなる振興を促すとともに、文化振興財団や文化協会等の文化団体に対する育成支援を図る必要があります。また、「雪舟の里総社 墨彩画公募展」や総社市文学選奨等の芸術・文化イベント等の充実を図って市民の芸術・文化に対する意識啓発に努め、活動の全体的な広がりを促していく必要があります。加えて、平成22年に岡山県で開催される国民文化祭に向けた取り組みを進めていくことも必要です。

地域の芸術・文化活動の拠点となる公民館についても設備の整備・充実が必要です。また、市民の芸術・文化活動への支援、リーダーや講師となる人材の育成とその支援体制の充実等を図って、市民ニーズに応じた、よりレベルの高い芸術・文化活動機会の確保、拡充等に努めることも重要です。

一方、周辺市町の文化団体や芸術・文化施設との連携を強化し、広域的な交流や本格的なイベントの創出等を促すとともに、本市が有する古代吉備文化の特性を生かした芸術・文化風土の醸成に努めていくことも必要です。

■市民ギャラリーの利用率の状況

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
利用率(%)	76.2	73.3	79.5	79.2	72.5

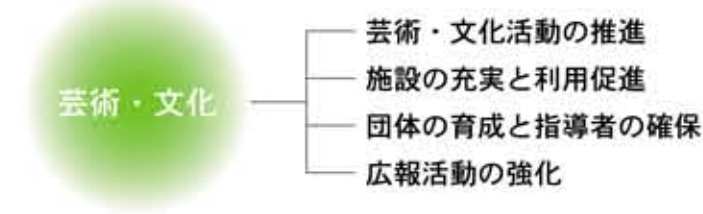
資料：教育委員会文化課

【基本方針】

地域に根ざした個性豊かな芸術・文化の創造を目指し、市民の自主的、主体的な活動の活発化を図るとともに、優れた芸術・文化にふれる機会の拡充を図り、市民ギャラリーの利用率90%を目指します。

また、市民の芸術・文化活動の拠点となる施設・設備の整備・充実を進め、古代吉備文化の特性を生かした総社市独自の芸術・文化風土の創出に努めます。

【施策の体系】



【主要施策】

(1) 芸術・文化活動の推進

- ①市民大学講座等の講演会や美術展、演劇・舞踊公演、音楽会など優れた芸術・文化に接する機会の拡充に努め、芸術・文化に対する市民の関心と理解を深めていきます。
- ②優れた芸術家等の招へいや市民参加の演劇・音楽公演等の実施に努め、芸術・文化活動に市民が直接参加、体験できる機会の拡充を図ります。
- ③市民会館、市民ギャラリー、公民館を利用した文化展や芸術発表会の開催など創作活動成果に関する発表機会の拡充や総社市文学選奨事業の推進を図るとともに、市民参加型の芸術・文化支援体制の確立等を進め、本市の芸術・文化風土の定着に努めます。
- ④SKYM音楽振興財団や周辺市町のホール・文化団体等と提携した広域的なイベント、交流事業を進め、広く市外に向け情報発信し得る芸術・文化活動おこしに努めます。
- ⑤「雪舟の里総社 墨彩画公募展」等を開催し、全国や世界に向けて情報発信する芸術・文化事業の推進に努めます。
- ⑥平成22年に岡山県で開催される国民文化祭に向けて、市民や各種団体との協働により本市の文化を発信していく取り組みを進めます。

(2) 施設の充実と利用促進

- ①施設の老朽化が進んでいる総合文化センターは、改装やバリアフリー化など計画的に改修を進め、拠点施設としての機能充実に努めるとともに、地域の拠点となる公民館施設の設備を充実します。
- ②総合文化センター、カミガツジプラザなどの既存施設の適切な運営に努め、芸術・文化の情報発信の場として、市民の活発な利用を促します。
- ③芸術作品の収蔵や常設展示を行う施設や市民の創作活動成果の発表の場については、既存建物の利用・活用を中心にして整備・充実を図ります。

(3) 団体の育成と指導者の確保

- ①文化振興財団や文化協会等の体制の充実や事業活動への支援を強化するとともに、市内の各芸術・文化団体やサークルの自主的活動についても積極的に支援し、団体・サークルの育成、強化に努めます。
- ②市民が公演や展示会等を企画運営するための知識や技能の習得の機会を設け、文化活動を実施するためのリーダーの育成や活動の活性化促進を図ります。

(4) 広報活動の強化

- ①各種芸術・文化団体等の活動内容、講演会予定などについて、広報紙やホームページによる広報活動を行い、市民の参加意識の高揚を図ります。

【協働に向け期待される役割】

市民	芸術・文化活動の実践、講師としてのボランティア活動への参加
NPO等	文化施設の運営への参加、ボランティア活動のリード
企業等	メセナ活動等による芸術・文化活動の支援など
行政	芸術・文化活動の推進、芸術・文化団体の育成など